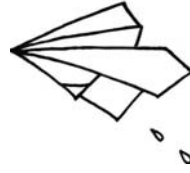


紙飛行機

こちら校長室

平成20年度

6月号



平成20年 6月23日
京都市立修学院小学校
校長 伊藤喜昌
TEL 781-4439

学校教育目標を達成するために…。

前回までに「めざす学校像」「めざす子ども像」と書いてきました。そして今日は、「めざす教職員像」について書きます。

「めざす教職員像」

- ・ 「子どものために」を心情に、熱い思いをもち、初心を忘れず意欲的に教育活動を進める教職員
- ・ 「授業が勝負」を心情に、教材研究し、授業のあり方を研究し、進んで公開授業したり授業参観したりする教職員及びそれらを支える教職員
- ・ 「自らが高まることは、子どもが高まること」を心情に、あらゆる機会をとらえて自己研鑽し、その成果を教育活動に生かそうとする教職員
- ・ 「いつも子どもが（の）そばにいる」を心情に、子どもとの出会いを喜び、保護者、地域と共に教育活動を進めようとする教職員
- ・ 「環境整備は教育の出発点」を心情に、美しい場づくりに努める教職員
- ・ 「社会人として、公務員として」を心情に、自覚をもって生活する教職員

私たちは、このような教職員像をめざします。このような「教職員」になれた時、子どもの姿が変わり、学校の姿が変わると考えています。

私たち教師は、教師になろうと決めた時から、また教職員全員は、学校に採用が決まった時から、「目の前の子どもたちのために」自分のもてる力を全て出そうと強く思います。

修学院小学校という屋根の下で子どもと教職員、教職員同士が偶然出会いました。その出会いを喜び、その出会いに感謝して、子どもたちの健やかな成長を願って全力を尽くします。

しかし、このような熱い思いや目標があっても、期待にそえないことがあったり、ミスがあったり、成果が出なかったり…。さまざまな課題が出てきます。多くの人間が1つ屋根の下に集まるのですから「何もない」ことはありません。

これらの課題を解決するために必要なことは「保護者と教職員との協力」です。子どもを真ん中にして保護者と教職員とが共通の思いをもち、互いに信じ合って力を合わせる大切であると思います。さらには地域の方々の協力を得ることが重要であると思います。

私たちは「学校に従事できることを誇り」に思っています。修学院小学校の教職員に出会えてよかったと子どもたちに思ってもらえるよう、また修学院小学校に通わせてよかったと保護者に思っただけのよう全力で取り組みます。

1年間、ご協力・ご支援をよろしくお願いします。

2年生の「傘立て」ビシッ！

→

2年生では「安全面と美しさ」を目的に、「傘立て」の整理整頓に力を入れているそうです。子どもが順番を決めて整理したり、掃除の時間に整頓したりしています。

整理整頓された環境は、安全で美しく、作業内容も充実します。何より「心の成長」にとっても大切です。

いつも環境の整備に目を向け、身近な所から美しくできる子どもであってほしいと思います。



今後、全校でも取り組んでいきたいと思います。

←職員室もがんばって傘立ての整理整頓をしています。いつも心がけている方々に感謝です。

「先生」ががんばっています！

遅くまで残って職員室や教室で仕事をしているのがいいとは言いません。

しかし、目の前の子どものために

毎日、先生方はがんばっています。写真は白熱する「学年会」の様子です。

「どんな授業をすれば子どもたちによく分かる授業になるのだろう！」

「今度の行事を進める時に気を付けることは？」

「気になる子どもへの声かけはどうすればいいのだろう？」

「うちのクラスの子どものたちは、こんなことができるようになりましたよ！」

等の話し合い・報告・連絡・相談から、ドリルやテストの○つけ、さらには日記や音読カードの点検…。

先生は、いつも子どもたちのことで頭一杯です。遅くまで学校に残って仕事をしている先生や、たくさんの仕事を小脇にかかえて帰宅し、自宅で仕事をする先生等、毎日、先生もがんばっています。

でも、このしんどさも「教師の喜び・誇り」でもあるのです。



日曜参観・学校評価 ありがとうございます

- 1000人以上の保護者の方々に参観していただきました。
- 廊下での保護者の「私語」がほとんどありませんでした。ありがとうございます。
- 校長の話（4校時）には、120名ほどの方々に来ていただきました。聞いていただいた方々から感想を聞かせていただければ嬉しいです。
- 学校評価の集計ができましたら、学校だよりやホームページでお知らせします。